

財政目標

長期財政見通しは本市の財政が現状のまま進むと将来的に危機的な状況になることを示している。そこで、本市の財政が将来に渡って持続可能となる最低限の水準として、以下の財政目標を設定した。第11次基本計画の計画期間内において、市財政は原則として以下の財政目標の範囲内で運営されるものとする。

財政目標

- ① 基金残高：40億円以上
- ② 市債残高：150億円以下（臨時財政対策債を除く）
- ③ 実質公債費比率：9.0%以下

財政目標の運用

先述のとおり、財政目標は本市の財政が持続可能となる最低限の水準を示している。そこで、第11次基本計画の計画期間内に財政目標が未達成となった場合には、財政目標の未達成の原因を分析し、財政目標の達成に向けた改善策を総合計画審議会及び9月議会に報告することとする。

